

2024年5月13日

各 位

会社名 株式会社アズジェント
代表社名 代表取締役社長 杉本 隆洋
(コード4288 東証スタンダード)
問合せ先
役職・氏名 経営企画部部長 秋山 貴彦
電話番号 03-6853-7401

特別損失、法人税等調整額の計上及び 個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年3月期決算において、下記の通り特別損失、法人税等調整額の計上を行うとともに2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)の個別業績と前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上の内容

当社が保有する投資有価証券の一部について、会計基準に則り保守的に判定を行った結果、減損処理により投資有価証券評価損122百万円を特別損失として計上いたしました。

2. 法人税等調整額の計上の内容

当社は、繰延税金資産を取崩したことに伴う法人税等調整額(損)25百万円を計上いたしました。

3. 2024年3月期 通期個別業績と前期実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 円 賤
前期実績(A)	2,833	△116	△123	△125	△32.91
当期実績(B)	2,369	△290	△290	△448	△117.43
増減額(B-A)	△464	△174	△167	△323	
増減率	△16.3%	—	—	—	

4. 差異の理由

売上につきましては、クラウド化の急速な進展に伴うセキュリティニーズの変化によるエンドユーザー側における対策検討の長期化と、既存導入製品のリプレイス需要が端境期に入ったことによる一時的な案件数減少による影響が年間を通して続いたほか、期末に見込んでいた複数の大型案件が来期へずれ込んだことで、売上高は 2,369 百万円（前年同期比 16.3%減）となりました。前述の通り当事業年度からずれ込んだ大型案件の受注確度が高くなっており、今後に期待が持てる状況となっております。

一方、「アズジェント中長期成長戦略」に沿って人材採用や SOC も含めたサービス基盤増強などの投資を推進していることによりコストが先行して発生しております。その結果、販売費及び一般管理費 1,255 百万円（前年同期は 1,128 百万円）となりました。また、当社が保有する投資有価証券の一部について、会計基準に則り保守的に判定を行った結果、減損処理により 122 百万円を特別損失として計上いたしました。尚、前述の投資有価証券はコロナ禍による影響もあり事業成長が計画より遅延したための減損処理となっており、今後再評価した際の評価額はそのまま含み益となります。更には、これとは別に当社が出資している VC 型インキュベータでは含み益があり、今後前述の特別損失額を上回る利益を計上できる状況です。これらの結果、各段階利益につきましては、営業損失 290 百万円（前年同期は 116 百万円の営業損失）、経常損失 290 百万円（前年同期は 123 百万円の経常損失）、当期純損失 448 百万円（前年同期は 125 百万円の当期純損失）となりました。現状は、新商品の投入に向けた準備やサービス基盤拡張のためのインフラ増強によりコストが先行しているものの、収益力回復に向けた構造変革は着実に進捗を続けています。市場ニーズを先取りしたスマートサービスを早期に展開していくことで業績の回復を図ります。

以上